

ひろしまジュニア国際フォーラム
国連事務次長（軍縮問題担当上級代表）中満 泉
2019年10月

世界中の若いリーダーが集い、核軍縮の極めて重要な問題について議論する「ひろしまジュニア国際フォーラム」の開催を歓迎申し上げます。広島はもちろん、そのような会議開催にふさわしい場所でもあります。75年ほど前の広島・長崎における想像を絶する惨劇は、人類が生き延びるためには、核兵器の使用は二度と繰り返されてはならないということを明確にしました。実際、広島・長崎の原爆投下から半年以内に行われた国連総会における初の決議案採択は、核兵器廃絶に関するものでした。

それから歴史は変わり、冷戦により特にソビエト連邦とアメリカ合衆国の核兵器保有量は増大しました。冷戦が終結し、核兵器の数は14,000発まで劇的に減少しましたが、十分ではありません。まだ14,000発もあるのです。

現在の世界情勢は、冷戦時の二極化した状態よりもより一層複雑化しています。質的軍拡競争の進行、軍縮協定をめぐる意見のきわだった相違、相容れないレトリックへの回帰など、世界は数年前よりも危険な状況に陥っております。核軍縮はこれまで以上に喫緊の課題なのです。

若者がこの重要な問題や世界平和のために取り組んでいくことに大変期待しています。若者世代がリーダーシップを発揮していくことは、世界中の人々が不都合な真実を認識し、公共の利益のための断固たる行動を起こす手助けになるのです。例えば、気候の緊急事態について若者が活動を起こし世論が高まっていくのみならず、我々の今の時代における喫緊の課題に若者たちが与える影響には確たるものがあることを知る必要があるのです。

さて、核不拡散条約再検討会議が来年開催されます。核軍縮や核不拡散の達成状況の評価や、過去の協定やコミットメントの実施促進、核のない世界という共通課題に向けて活気を取り戻す大変重要な会議です。

私たちの世代で最大限の努力をいたしました。皆さんの世代に最終地点である核兵器全廃という目標達成を引き継ぐことになるのではないかと危惧しています。ひろしまジュニア国際フォーラムへの参加を通じて、皆さんがその目標達成のための手段を獲得していただけることを願っております。この問題について皆さんが立ち向かうことについて感謝するとともに、私個人と国連が皆さんを支援することをお約束いたします。